

事故防止に向けての取り組み
—(株)カクヤス—

はじめに

これは、今回の定例会議の席上、(株)カクヤスさんの阿部課長と森岡課長がスライドを用いて発表された「事故防止に向けての取り組み」のうちのごく一部をメモしたものです。

(株)カクヤスさんでは、このようなシステムを2018年頃から採用されておられるようで、非常に素晴らしい取り組みだと感じました。

■ 安全運転教育の各段階

- STEP1からSTEP3までの段階を設けて実施されています。

- STEP1

入社したデリバリー・スタッフ全員が参加しなければならない安全運転教育です。

戸田にあるホンダ二輪さんのコースなどを利用して行います。

(株)カクヤスさんオリジナルの練習メニューに基づいて行われ、約20のエリアそれぞれに選任された「安全隊長」(約20名)が教育を担当し、各安全隊長は一ヵ月に約80名の教育を行います。大阪の隊長は1名だそうです。

デリバリー・スタッフは、トラックについては社員、電動アシスト自転車(リヤカー付)についてはアルバイトが担当しているそうです。

- STEP2

「シルバークラス」と呼ばれ、練習期間と位置付けられています。

- STEP3

「安全配達フェロー」と呼ばれ、アフターフォロー期間と位置付けられています。

■ 安全運転教育の課題

再教育をどうするかが、今後の課題だそうです。

■ その他

四輪車については、GPS及びドライブレコーダーを搭載して、指導に役立っているそうです。

おわりに

今後このような発表が各社から行われ、SDA会員全体の安全管理態勢のレベルアップが図られることを期待いたします。

令和2年度開催予定のSDAセーフティフォーラムの議題や発表会社についても逐次御意見を願います。

以上